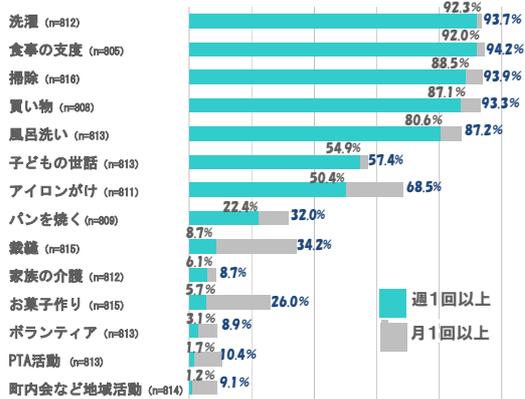


01 Womans' Voice

ミセスのココロをつかむ家事周辺商品 軽減・時短だけではない— 面倒でもいい、クリエイティブな家事に“幸せ感”あり

① 平日の昼間、週1回以上/月1回以上していることは？

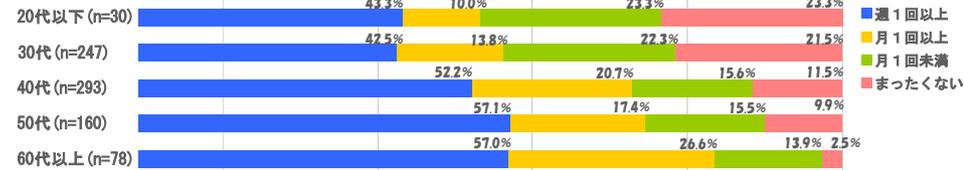


当コーナーの3月号で紹介した「ミセスが平日の昼間にしていること」の調査では、家事・子育て・介護以外で「週1回以上」していることとして、「屋敷」34.7%、「ゲーム」40.1%、「過去のドラマの再放送を見る」71.3%。主婦には余裕があるとも、家事には相当な息抜きが必要ともとれる数字。同時に聞いた「自分はラクをしていると思うか」では、専業主婦の75.7%が肯定。また「自分は幸せだと思う」は86.3%だった。一方「一般的に」専業主婦はラクか?では専業主婦で肯定した人は48.7%。専業主婦とはキッチンと務めればラクではないということか。では、「ミセスが平日の昼間にしていること」

の家事・子育て・介護での回答は、「週1回以上」で8割を超えたのは、だれにとっても最低限必要な家事(グラフ①)。

アイロンがけや裁縫は、世代間で開きが(グラフ②③)。別の、リビング新聞の調査(苦手な家事/2008年7月、シュフカ/2010年9月)などでも、アイロンがけは常に、整理整頓とともに嫌いな家事の1、2位を競っている。「アイロンのいらぬ服を選ぶ」(43歳)の声はアパレル製品の進化で「アイロン回避」が可能になったことも背景。裁縫は、子供の入学・入学時、運動着の縫いなどに必要に迫られてのことか、子供がいらない人が多い20代では頻度が少ない。

② アイロンをかける頻度(年代別)



③ 裁縫をする頻度(年代別)



一方、家事の人気度が変わらぬ地位を保つもの、参入するものも。「パンを焼く」は、買ったほうが早い・安い・うまい・ラクかもしれないが、ホームベーカリーの登場で22.4%が週1回以上(グラフ①)。趣味などで「ハマったこと」を聞いた設問でも、料理、パンを焼く、お菓子作りは、旅行・買い物・ダンスなどととも上位(3月号で紹介)。家事でもクリエイティブなら「幸せ」を感じる、そのキモチは下のReal Voiceに。

家事周辺商品のツボは、軽減・時短ばかりでなく、ミセスの「楽しい」「やりたい」を掘り起こすことにもありそう。手間で面倒くさくても構わないのだから、ややこしい。

所長の目

マーケティングの本質は自社視点ではなく顧客視点に立つこと。アイロンがけ関連では、まさに顧客視点に立った商品開発が進んでいるのだろう。ミセスの気持ちは洋服がシワにならなければなんでもいいのか、アイロン自体の進化より、シワになりにくい繊維やシワや臭いをとるスプレー剤などのほうが求められるのだ。

掃除もロボットがしてくれる時代になったが、ロボットが進化するのか、それともモップ系や家事サービスが進化するのだろうか。ホコリを吸着するインテリアだとか、もっと微細なロボットが隅々まで動いてホコリを集めてくるといった、全く違った発想の商品もまだ考えられそうだ。(植田奈保子)

※2011.2/10~13調査。詳細はくらしHOWへ問い合わせを

Real Voice

家事が創作か...

- ◆作りたい料理レシピがあり過ぎ困る(34歳/神奈川)
- ◆料理が好きで趣味。家庭菜園の無農薬野菜で作る(35歳/千葉)
- ◆身重のときパン焼きでストレス発散(47歳/東京)
- ◆ホームベーカリーを買い毎朝焼いたパンを食卓へ。家族は飽きた、私は飽きない(33歳/宮城)
- ◆パン作りハマりブログに載せて楽しむ毎日(38歳/福島)
- ◆パッチワークキルトを10年やってきたら専門誌の1頁を飾れた(58歳/兵庫)
- ◆編み物に夢中。毎日の息抜きに楽しんでいる(32歳/兵庫)
- ◆手芸にハマり、自分や子供の服を作り楽しんでいる(39歳/兵庫)

02 HOW's View

実践に即した内容の特別セミナーが好評 6月8日「著作権の基礎を学ぶ」を開催

LETS (リビング・エディターズ・トレーニング・システム)では、ライター・エディターの養成に加え、現役ライターのサポート事業として、専門知識を学ぶセミナーも実施している。

ブログなどで一般人が情報発信できる時代になっているが、知らずに他人の権利を侵害している例が散見される。また、無用の配慮で問題を複雑にしてしまうことも多いが実情だ。そこでLETSでは、権利や契約についてライターが知っているべき内容を学ぶ特別セミナーを開催。毎回ライターだけでなく個人事業主やサイト運営者、研究職の方など幅広く参加いただいている。

講師はサンケイリビング新聞社で2005年から広告審査・法務を担当している森康彰(商工会議所認定:ビジネス法務エキスパートR、平成21年度行政書士試験合格)。実践的で分かりやすい説明が持ち味。

今回は6月8日(水)18時30分、テーマは「著作権侵害をしない、させない」。

自分の作品をいかに侵害から守るか、自分が第三者の権利侵害をしないようにするにはどうするか、著作権の保護と「契約」。さらに最近注目事例が続いた景品表示法の基礎についても触れる。詳細・お申し込みは <http://seminar.kurashihow.co.jp/lets>へ。

(外山由紀代/リビングくらしHOW研究所 LETS代表)

リビング・エディターズ・トレーニング・システム LETS

Living Editor's Training System

- 今後のLETS特別セミナーの予定
- 6月 フェイスブックなどSNS初心者向けセミナー
- 7月 サイトのSEO対策セミナー
- 9月 薬事法セミナー(化粧品編・健康食品編)

03 Group Eyes

企業情報や社会貢献活動を教材に活用 小学校教師に届く「チャイム」近畿で発行

サンケイリビング新聞社大阪は、近畿圏の小学校教師を対象としたフリーメディア「チャイム」のパイロット版を発行した。「新学習指導要領」がスタートし、授業内容・時間ともに増大。学校側の「公的教育ではカバーしきれない部分を企業に頼りたい」というニーズに対応した媒体だ。

「学校への出前授業や地域企業の施設見学など、教育を通じて積極的に社会貢献をしていきたい」という企業が増えている。企業の活動を教材ページに仕立てて授業に使ってもらい、恒常的に多忙である教師の負担を軽減していく新発想がポイント」と担当のリビング3部部長代理野村尚司。パイロット版では、大阪ガス「燃える秘密を探ってみよう」、ヤンマー「米作りの様子を調べてみよう」、関西テレビ「ニュース番組がつくれるまで」とコピーしてすぐ使えるユニークな教材ページが出揃った。「難

しかったのは企業活動を教材ページに仕立てるクリエイティブ。あくまで教材なのでどこまでスポンサー情報を表現できるかに苦慮」と野村。新メディアのチャレンジにぜひ注目してほしい。

(岸野順子/リビング新聞グループコーポレートコミュニケーション室室長)

■チャイム発行概要
発行:サンケイリビング新聞社/編集協力・監修:日本教育研究センター/体裁:A4判オールカラー、24ページ建て/発行日:2011年4月15日(金)/発行部数:50,000部/配布:近畿2府4県(公立、私立)20校/勤務する教師50,000人への無料配布。各小学校の校長宛てに発送